

問1 モンシロチョウが、花のみつを食べるようになるのはどの時期ですか。

問2 チョウなどのよう虫は、どのようにして体を大きくしていきますか。

問3 チョウのよう虫は、何を食べて大きくなりますか。

問4 こん虫が、よう虫からせい虫になる前の段階で、何も食べずに動かなくなる時期のことを何といいますか。

問5 植物のたねをまいて芽が出たあと、子葉の次に出てくる、子葉とはちがう形をした部分を何といいますか。

問6 植物の草たけを正しくはかるとき、どこからどこまでの長さをはかりますか。

問7 動物がくらす場所のとくちょうとして、ダンゴムシはどのような場所にいることが多いですか。

問8 葉を食べて、皮をぬぐたびに大きくなり、大きくなるとさなぎになる、チョウの育ち方の段階を何といいますか。

問9 モンシロチョウのたまごは、どこにうみつけれられますか。

問10 チョウのよう虫は、どのようにして大きくなりますか。

問11 花がさいたあとにできる「実」の中には、何が入っていますか。

問12 赤と黒のもようをしていて、自分より小さい虫を食べる虫はどれですか。

問13 花がさいたあとにできるもので、その中にはたねが入っているものは何ですか。

問14 モンシロチョウの成虫は、何を食べて生きていますか。

問15 土の中に巣をつくり、食べ物を運びこむ虫はどれですか。

問16 植物の実は、花が咲いたあと、どこにできますか。

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え</b> せいちゅう 成虫のとき	モンシロチョウは、成虫 <small>せいちゅう</small> の時期になると花のみつを食べようになります。
問2	<b>答え</b> 皮をぬぐ。	よう虫は、皮をぬぐ（だっぴする）ことで、体を大きくしていきます。
問3	<b>答え</b> 葉	チョウのよう虫は、葉を食べて栄養 <small>えいよう</small> をとり、皮をぬぎながら大きくなっていきます。
問4	<b>答え</b> さなぎ	よう虫からせい虫になる前の、何も食わずに動かなくなる時期を「さなぎ」といいます。
問5	<b>答え</b> 葉	子葉の次に出てくる、子葉とはちがう形をした部分を「葉」といいます。
問6	<b>答え</b> 地面からいちばん上の葉のつけ根まで	草たけは、地面からいちばん上の葉のつけ根までの長さをはかります。
問7	<b>答え</b> 石の下などの日かげ	ダンゴムシは、しめり気があって暗い、石の下などの日かげ <small>この</small> を好んでくらしています。
問8	<b>答え</b> チョウのよう虫	葉を食べて、皮をぬぎながら大きくなり、そのあとにさなぎになる段階 <small>だん</small> を「チョウのよう虫」といいます。
問9	<b>答え</b> キャベツの葉	モンシロチョウは、たまごをキャベツの葉にうみつける性質 <small>せいしつ</small> があります。
問10	<b>答え</b> 食べ物を食べて育つ。	よう虫は、たまごからかえったあとに食べ物をたくさん食べることで、どんどん大きく育ちます。
問11	<b>答え</b> たね	花がさいたあとにできる実の中には、たねが入っています。
問12	<b>答え</b> テントウムシ	テントウムシは、赤と黒の目立つもようがあり、自分より小さい虫を食べるのがとくちょうです。
問13	<b>答え</b> 実	花がさいたあとにできるものを「実」といいます。実の中にはたねが入っています。
問14	<b>答え</b> 花のみつ	モンシロチョウの成虫 <small>せいちゅう</small> は、花のみつを食べます。キャベツの葉を食べるのは幼虫 <small>ようちゅう</small> のときです。
問15	<b>答え</b> アリ	アリは、土の中に巣 <small>す</small> をつくって、食べ物を運びこむ特徴 <small>とくちょう</small> をもつ虫です。
問16	<b>答え</b> 花が咲いていたのと同じ場所	植物の実 <small>さ</small> は、花が咲いたあとに、花が咲いていたのと同じ場所 <small>さ</small> にできます。